

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	気仙沼・南三陸地区住民の健康を支える会	
代表者名	芳賀 礼子	
連絡先 TEL：090-4317-4749 FAX：無	E-mail sunwason52531@docomo.ne.jp	

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	「まちの健康相談室（ぬくもり）」
事業の目的	<p>震災から11年が過ぎ、市民の生活は直接被災した人に限らず、その生活環境は大きく変化、高齢化、孤立化、健康不安等多方面に及ぶ。</p> <p>健康相談では来所者一人ひとりに健康チェック等を通して向き合い、又市民の健康や安心の見守り役として寄り添い、市民全体の健康度を向上できるようにする。</p>
事業の具体的内容	<p>気仙沼では、平成26年度から令和2年度までの7年間に亘り、宮城県看護協会に委託して「まちの保健室」を実施してきたが、震災10年を区切りとして終了となった。その後については従事者間でボランティアとして継続していくことを話し合い、名称を標記のとおり変更、内容については事業が利用者及び市民に定着してきたこと等を考慮し、従来と同様のまま実施していくこととした。</p> <p>○事業の具体的内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施場所：商業施設（イオン気仙沼店） ・実施回数・開催月：12月を除き毎月1回15日固定で開催（8月は20日） ・受付時間：午前10時から午後3時（5時間） ・対象者：乳幼児～高齢者（年齢制限なし） ・従事スタッフ：毎回看護職7名、イオン薬剤師1名（他 随時受付専門ボランティア、理学

	<p>療法士，ケアマネジャー等各 1 名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康相談内容：受付（個別相談票作成）→相談者自身による健康状況等の記載→健康チェック（血圧→体脂肪→ボディチェッカーによる血管年齢・ストレス度測定→薬剤師による自己血糖検査）→個別相談（看護職，理学療法士，ケアマネジャー） ・個別相談内容：生活習慣病予防，介護，高齢者，精神保健，母子保健，一般（対象者によっては本人の了解の下，市の担当課につなぎ，継続支援を依頼） ・ミニ体操・講話：理学療法士，イオン店長 ・事業運営状況 <ul style="list-style-type: none"> ①17名の看護職の中にコーディネーター3名を配置 主な役割：全体的な流れや内容の検討・調整，器具機材の確認，事業実施報告書等の作成（定期的にミーティング等実施） ②年1回（年度末）「全体会」を開催 メンバー全員への事業実績等報告，次年度の予定・分担票の配付，意見交換 他 ③市・イオン気仙沼店・コーディネーター間の事業打ち合わせ会（年度当初） ④事業の周知 気仙沼市の協力により毎月市の広報に掲載，他イオン気仙沼店の協力により，正面玄関に事業1週間前からポスターで案内 ⑤「気仙沼・南三陸地区住民の健康を支える会」との関係 事業の実施状況等については隔月に1回程度，支える会の役員会の中で情報交換を行っている。 （南三陸町では，まちの健康相談「ぽかぽか」を町の単独事業として実施）
<p>活動の開始から完了までの流れ</p>	<p>○当日の流れ</p> <p>9：00 市の市民健康管理センター（器材等保管）集合 ミーティング後会場に移動</p> <p>9：30 会場設営，机イス等の消毒等</p> <p>10：00 ①受付（個票を準備） ②ボディチェッカーによる血管年齢・ストレス度測定 ③血圧測定・体脂肪測定 等 ④個別健康相談</p> <p>※午前中にミニ体操（理学療法士）や講話等実施</p> <p>15：00 受付終了 相談者帰った後会場の片付け・消毒</p>

	<p>15：30 ミーティング後解散</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日のデータ及び相談内容等は、面接担当者が個別の相談票に記載 ・当日担当したコーディネーターが集計し、報告書を作成（一部は市に報告）
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>「気仙沼・南三陸地区住民の健康を支える会」として、初の事業化ができた。みやぎ生協の福祉活動助成金から助成を頂いたお陰である。</p> <p>ボランティア活動に取り組み、継続していくために不可欠な資金調達のため、初めて申請という作業を体験したことは大きな収穫となった。</p> <p>○令和3年度の実績</p> <p>①全11回中8回開催（コロナ感染拡大防止のため3回中止） 相談者248人、スタッフ数57人 （詳細は別添資料のとおり）</p> <p>②1回当たりの相談者は毎回30人前後（平均31人） 相談者本位の健康相談を目指し、従来と同様の内容で再スタートした効果かと思われる。</p> <p>③男性の利用者39.5% 商業施設で実施していることからこその傾向（気軽さ等）と思われる。</p> <p>④20代から60代までの利用者は62名（25%） すべてのライフステージにまたがっており、相談の中味も健康や老後に関することから、孤独を癒すための話し相手と多種多様である。</p> <p>⑤定期的参加者は全体の81.5% 年間の相談日を決めているため定期的参加が次第に増えている。</p> <p>⑥個別の相談で最も多いのが『生活習慣病』に関することで全体の半数を占める。受療中の人が多く、指示通りに医療を受けているかどうかから日常生活の様子の確認等重症化防止等の観点からのアプローチを行ってきた。未受診者はじめ医療中断、医療不信の問題を抱えている人もあり、常に慎重で適切な対応が求められる。</p> <p>⑦相談者の約75%は70代以上 フレイル等高齢期特有の問題や課題に関するものが多い。看護職スタッフに加え、理学療法士やケアマネジャー等との協働により、市民の健康寿命の延伸や介護予防に微力でも貢献できるものと思う。</p> <p>⑧市民が生活習慣病予防等セルフケア能力を高められるような支援を心がけている。第一線をリタイアした看護職として、動機づけから実践、チェック（特</p>

	<p>定健診)等のサイクルの見守り役として市民にいつまでも寄り添っていけるよう、事業の継続が目下の目標となっている。</p> <p>⑨商業施設で行う健康相談の特徴として買い物客等で賑わう雑踏の中だからこそ深刻な話がしやすいということ等について気づく良い機会となっている。</p>
<p>今後の展望など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設とのタイアップによる市民の便宜に添った健康相談の継続実施 ・市の地域包括ケアシステムの中に位置づけられた事業として、その役割の一端を担いながら、さらに市の健康課題に沿った支援 ・リタイアした看護職が経験等を結集し、生きがいを兼ねた地域貢献 ・市初の健康ボランティア団体として、事業の継続実施と組織の充実

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	240,000	
自己資金	511	
合計	240,511	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
交通費	相談会交通費@500×延90名 全去会交通費@500×12名 休	42,000	51,000
備品	パソコン・プリンター・無線 マウス	120,000	123,029
消耗品	消毒剤, フェイスシールド, グローブ等	18,000	11,534
	インク代、コピー用紙, ファ イル・切手代等	15,000	20,048
	ボディチェッカープリント用 紙	15,000	0
	エプロン@1,360×20枚	20,000	27,200
	のぼり旗 2セット	10,000	7,700
その他	ボランティア保険	10,000	0
合計		250,000	240,511

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

① 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。

② 領収書のコピー (郵送)

③ 成果物 (活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送)

*写真は郵送とメールで送ってください。



まちの健康相談室 ぬくもり



イオン気仙沼店内の様子



受付



薬剤師による健康相談



ボディチェッカーによる血管年齢・ストレスチェック



全体会の様子

資料1 まちの健康相談室実施報告書 (イオン気仙沼店会場)

令和3年度分

月	ス タ ツ フ 数	参加者		年代別						住所				病院の受診状況(延数)							相談内容(延数)								結果(延数)																					
		新 規 計	継 続	性別	年代別						住所				病院の受診状況(延数)							相談内容(延数)								結果(延数)																				
					20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代	① 旧 気 仙 沼 市	② 旧 唐 桑 町	③ 旧 本 吉 町	④ そ の 他	受 診 な し	受 診 あ り	① 高 血 圧	② 脂 質 異 常	③ 糖 尿 病	④ 心 疾 患	⑤ 脳 卒 中	⑥ が ん	⑦ そ の 他	血 圧 測 定 値	A 高 齢 者	B 介 護	C 精 神 保 健	D 母 子 保 健	E 生 活 習 慣 病	F 一 般	G そ の 他	相 談 な し	1 フ ォ ロ ー ウ 不 要	2 次 回 談 時 対 応	3 関 係 機 関 紹 介	4 受 診 動 員	相 談 な し											
4	8	3	27	10	20		1	7	11	10				30										6	24											16	1	1	1	18	6	3	2	26	2			2		
5	7	3	29	15	17		1	5	14	9	1			28	2	2							6	26	16	3	5	3												11	11	3	5	23	4			5		
6	6	3	27	9	23			1	11	8	11	1		31		1							7	25	14	1	7	3												11	11	1	5	23	4			5		
7	8	5	25	12	18				6	12	11	1		28	2								5	25	11	1	6	2											18	8		4	23	3			4			
8																																																		
9																																																		
10	7	6	23	11	18				3	5	13	7		25	1	3						6	23	10	1	6														17	9		1	17	10			1		
11	7	8	25	12	21				1	4	20	8		28	2	1	2					1	32	16	4	6	3	1	1	14	15	2								16	3	4	5	25	3			1	5	
1	7	8	19	13	14				2	3	13	6	1	26	1							2	24	13	1	7	3													13	10		2	24	2			2		
2																																																		
3	6	8	27	16	19				3	3	17	12		33	2							3	31	13	4	9	4	1	11	27	3										20	6	3	2	29	2			2	
計 (%)	56	248	46	202	98	150	1	2	4	13	42	108	74	4	229	10	7	2	0	36	210	93	15	46	18	2	2	68	124	13	1	7	0	124	64	14	26	190	30	0	4	26								
	7.0 人回	31 人回	18.5%	81.5%	39.5%	60.5%	0.4%	0.8%	1.6%	5.2%	16.9%	43.5%	29.8%	1.8%	92.3%	4.0%	2.8%	0.8%	0	14.5%	37.5%	37.5%	6.0%	18.5%	7.3%	0.8%	0.8%	27.4%	50.0%	5.2%	0.4%	2.8%	50.0%	25.8%	5.6%	10.5%	76.6%	12.1%				1.6%	10.5%							